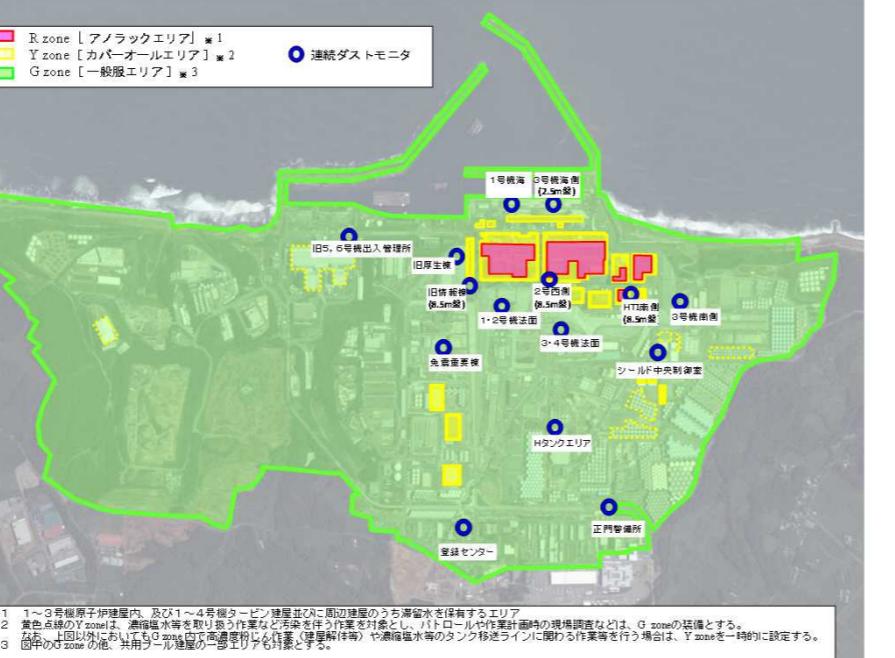


労働環境改善スケジュール																													
分野名	活動	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			備考		
			26	3	10	17	24	31	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
労働環境改善	1 防護装備の適正化検討	(実績) ・DS2マスクを着用せずに作業する運用の定着、推進 ・全面マスク用アノラックの導入  (予定) ・DS2マスクを着用せずに作業する運用の定着、推進 ・全面マスク用アノラックの導入  ※管理対象区域を3つのゾーンに区分し、各区分に応じた防護装備を着用することで、作業時の負荷軽減による作業性の向上を図る	検討・設計	現地作業	全面マスク用アノラックの導入 仕様確定・発注手続き			製作期間			*改良型全面マスク用アノラックの使用			(継続実施)			全面マスク用アノラックの使用			(継続実施)			DS2マスクを着用せずに作業する運用の定着、推進			(継続実施)			※改良型全面マスク用アノラック ②素材の改良箇所 ①アノラックの吸気フィルタ部を全ての全面マスクに適用できる形状に改良 (拡大写真) 
					協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等			協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
					情報共有、安全施策の検討・評価			熱中症予防対策の実施(4~10月)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
労働環境改善	2 ヒューマンエラー発生防止	(実績) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等  (予定) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等	現地作業		協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			四半期毎に実施している不適合やヒューマンエラーの分析結果を踏まえ、安全衛生推進協議会にて四半期に一回程度、協力企業に対しヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等を啓発予定			
					情報共有、安全施策の検討・評価			熱中症予防対策の実施(4~10月)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
					協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価			作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
労働環境改善	3 重傷災害撲滅、全災害発生状況の把握	(実績) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等) ・熱中症予防対策の実施(4~10月)  (予定) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等) ・熱中症予防対策の実施(4~10月)	現地作業		健康相談受付			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			2022年7月27日現在、福島第一原子力発電所で働く社員及び協力企業作業員等において、新型コロナウイルス累計感染者数は、前回公表(6月29日現在)から77名(社員9名、協力企業作業員68名)増加し、407名(社員55名、協力企業作業員339名、取引先企業従業員2名、派遣社員1名)			
					【検査受診期間】検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き、2022年度対象者(退職者及び協力企業作業員)への検査案内に向けた準備			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
					1F救急医療室の8~10月の勤務医師調整			1F救急医療室の11~1月の勤務医師調整			新規追加 (1月まで継続実施)			1F救急医療室の2~4月の勤務医師調整			新規追加 (1月まで継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
労働環境改善	5 継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化	(実績) ・1F救急医療室の2022年10月までの医師確保完了 ・固定医師1名+0~2名の支援医師 ・1F救急医療室の8~10月の勤務医師調整  (予定) ・1F救急医療室の11~1月の勤務医師調整 ・1F救急医療室の2~4月の勤務医師調整	検討・設計	現地作業	1F救急医療室10月までの医師確保完了			新規追加			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			2022年7月27日現在、福島第一原子力発電所で働く社員及び協力企業作業員等において、新型コロナウイルス累計感染者数は、前回公表(6月29日現在)から77名(社員9名、協力企業作業員68名)増加し、407名(社員55名、協力企業作業員339名、取引先企業従業員2名、派遣社員1名)			
					新型コロナウイルス感染症対策の実施			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)						
					▼作業員の確保状況調査依頼			作業員の確保状況集約▼			▼作業員の確保状況調査依頼			作業員の確保状況集約▼			▼作業員の確保状況調査依頼			作業員の確保状況(7月実績/9月予定)と地元雇用率(7月実績)についての調査・集計			作業員の確保状況(8月実績/10月予定)と地元雇用率(8月実績)についての調査・集計						
要員管理、労働環境改善	7 作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計	(実績) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計	検討・設計	現地作業	作業員の確保状況(6月実績/8月予定)と地元雇用率(6月実績)についての調査・集計			労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握、解決策の検討・実施・結果のフィードバック			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			(継続実施)			2022年7月27日現在、福島第一原子力発電所で働く社員及び協力企業作業員等において、新型コロナウイルス累計感染者数は、前回公表(6月29日現在)から77名(社員9名、協力企業作業員68名)増加し、407名(社員55名、協力企業作業員339名、取引先企業従業員2名、派遣社員1名)			
					新規追加 配付(8月下旬)▽			回収(9月下旬)▽			公表(12月下旬)▽			作業員へのアンケートによる実態把握			新規追加			配付(8月下旬)▽			回収(9月下旬)▽						
要員管理、労働環境改善	8 労働環境・就労実態に関する企業との取り組み	(実績) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡(効率・労働条件等)への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握	検討・設計	現地作業	労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握、解決策の検討・実施・結果のフィードバック			(継続実施)																					

分野名 括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	6月	7月			8月	9月	10月	11月	12月	1月以降	備考																																							
			26	3	10	17	24	31	上	中	下	上		中	下																																					
労働環境改善	<p><b>廃炉中長期実行プラン2022</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2021(実績)</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th colspan="3">2027</th> <th colspan="5">2033(年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td colspan="13" style="text-align: center; color: red;"><b>管理対象区域内の企業棟整備</b></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1; text-align: right; font-size: small; color: red;">その他</div> <div style="flex: 1; text-align: left; font-size: small; color: red;">その他</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;凡例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ : 作業の期間</li> <li>■ : 変更が見込まれる期間</li> <li>→ : 工程間の間隔</li> <li>■ : 追加した工程</li> <li>■ : 変更した工程</li> </ul> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">注: 今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る</p>  <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">     ■ R zone [アノラックエリア] *1      ■ Y zone [カバーオールエリア] *2      ■ G zone [一般服エリア] *3  <span style="color: blue;">●</span> 連続ダストモニタ   </p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">     *1 1～3号機原子炉建屋内、及び1～4号機タービン建屋並びに周辺建屋のうち湯留水を保有するエリア      *2 黄色点線のY zoneは、濃縮塩水等を取り扱う作業など汚染対象といし、パトロールや洗浄計画時の現場調査などは、G zoneの設備とする。      なお、上図以外においてもG zone内で高濃度粉じん作業（建屋解体等）や濃縮塩水等のタンク移送ラインに関わる作業等を行う場合は、Y zoneを一時的に設定する。      *3 図中のG zoneの他、共用ブルドーザーは付属する。   </p> <p style="text-align: center; font-size: x-small; margin-top: 10px;">管理対象区域の運用区分 レイアウト</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small; margin-top: 10px;">提供:日本スペースイメージング, ©DigitalGlobe</p>													年度	2021(実績)	2022	2023	2024	2027			2033(年)					その他													<b>管理対象区域内の企業棟整備</b>												
	年度	2021(実績)	2022	2023	2024	2027			2033(年)																																											
	その他																																																			
	<b>管理対象区域内の企業棟整備</b>																																																			